

日本再生の基本戦略

～危機の克服とフロンティアへの挑戦～

日本を
取り巻く
現状認識

日本は、今未曾有の人口減少社会を目前に控え、「2つの危機」の真っ只中に位置している

- 「そこにある危機」：構造転換が遅れ、失われた20年
- 「危機の中の危機」：東日本大震災・原発事故・円高等

基本的な
考え方

危機の克服を図り、「フロンティア」への挑戦に臨む

- 東日本大震災や原発事故等を受けて、東日本の復興を支え、震災前から直面した課題に対応するため、本戦略を取りまとめた
 - 被災地においては、「新成長戦略」の施策を先進的に実施することで、被災地の復興を日本再生の先駆例としていく
- 「新成長戦略」は加速・断行をした上で、経済連携やイノベーションを推進し、グローバル化のもたらす便益を追求し経済成長に繋げる
- グローバル化と向き合いつつ、分厚い中間層を復活し、持続可能で活力ある地域社会を構築する
- インクルーシブな成長、人間の安全保障など、人の温もり・地域の温かさを大切にする取組を内外に展開する

日本再生の基本戦略

～危機の克服とフロンティアへの挑戦～

【現状の危機】

人口減少

高齢化

産業構造への
転換の遅れ

90年代半ば
からのデフレ

東日本
大震災

原発事故

円高

世界的な金融
市場の動揺

【取組み内容】

1. 震災・原発事故からの復活

東日本大震災からの復興
復旧から復興へ

エネルギー・環境政策の
再設計
新たなエネルギーの可能性

2. 経済成長と財政健全化の両立

経済の成長
政策努力目標（11～20年度平均）
名目成長率3%程度
実質成長率2%程度

財政健全化
社会保障・税一体改革

3. 3つのフロンティア 新成長戦略の実行・強化

経済の
フロンティア
更なる成長力強化の
ための取組

社会の
フロンティア
分厚い中間層の復活

国際の
フロンティア
日本のプレゼンス強化

4. 新たなフロンティアへの挑戦

グローバル

地域社会

中長期的な方向性を検討

フロンティア分科会

【目指す姿】

【希望と誇りある日本へ】

経済成長

参加しお互い
支えあう社会

国際貢献

日本再生の基本戦略

～参考:特色①～

○基本戦略では、新成長戦略の被災地での先取りによる震災・原発からの復活に加え、経済・社会・国際の3つのフロンティアと新たなフロンティアとして中長期的方向性の検討を提示

被災地の復興を日本再生の先駆例にする取組等

経済のフロンティア

- ・ 経済連携の推進や世界の成長力の取り込み
- ・ イノベーションによる新産業・新市場の創出
- ・ 新たな資金循環による金融資本市場の活性化 等

社会のフロンティア

- ・ 雇用を基軸とした社会・生活基盤の構築
- ・ 産官学の連携した人材の育成
- ・ 持続可能で活力ある国土・地域の形成

国際のフロンティア

- ・ 「内向き志向」から脱却し、国際貢献を推進
- ・ 「人間の安全保障」の実現
- ・ 世界の人々が持つ日本のイメージの向上

新たなフロンティア

中長期的に目指すべき
方向性の検討を深める

「フロンティア分科会」
で検討

日本再生の基本戦略

～参考:特色②～

○特に、基本戦略の3つのフロンティアでは、基本的考え方に加え、新たな取組の強化や新成長戦略での取組の再設計に関するものとして、当面の重点施策を明示。

【重点施策の例】

○ 経済のフロンティア（更なる成長力強化のための取組）

産
業



経済連携の推進や
世界の成長力の取り込み

- ◆パッケージ型インフラ海外展開の拡充
- ◆中小企業の海外展開支援等

イノベーションによる
新産業・新市場の創出

- ◆少子高齢化、エネルギー環境制約等の課題克服による市場拡大
- ◆中小企業の潜在力・経営力の強化

新たな資金循環による
金融資本市場の活性化

- ◆官民連携による成長マネーの供給
- ◆「成長ファイナンス関係閣僚会議（仮称）」の設置

○ 社会のフロンティア（分厚い中間層の復活）

人
・
地
域



雇用を基軸とした
社会・生活基盤の構築

- ◆「若者雇用戦略（仮称）」の策定
- ◆非正規労働者の雇用の安定と公正な処遇に向けた新たなルールづくり

産学官の連携した
人材の育成

- ◆グローバル人材の育成
- ◆産学官が連携した職業教育や職業訓練の強化

持続可能で活力ある
国土・地域の形成

- ◆「環境未来都市」構想の推進
- ◆都市・農山漁村の交流促進、地域資源の活用等を通じた地域力の向上

○ 国際的フロンティア（世界における日本のプレゼンス（存在感）の強化）

国
際



「内向き志向」から脱却し
国際貢献を推進

- ◆途上国の強靱なインフラの整備
- ◆グリーン経済への移行における貢献（「課題先進国日本」としての貢献）

「人間の安全保障」
の実現

- ◆途上国等の経済を支える人材の育成
- ◆保健・医療・衛生の改善

世界の人々が持つ
日本のイメージの向上

- ◆日本食文化の無形文化遺産への登録
- ◆日本ブランドの再構築